

①自殺未遂者支援

▶実施内容

自殺未遂者が自殺未遂に至った原因や背景等について情報収集し、リスクアセスメントを行い、関係機関と連携しながら支援体制を整える。

▶連絡経路

(1) 湖南いのちサポート相談事業(保健所事業)ケース

自殺未遂により、県内救急告示病院を受診した本人または家族に、病院で同意をとり、保健所を通じて市(自殺対策担当)に連絡が入る。

(2) その他関係機関から連絡のあったケース

関係機関が把握した自殺未遂者や、自殺念慮があり支援が困難なケースについて、関係機関から支援について相談の連絡が入る。

○主な関係機関

- ・市:家庭児童相談室、子育て相談センター、児童生徒支援課、障害福祉課、発達支援センター、生活支援課
人どくらしのサポートセンター等
- ・県:草津保健所、精神保健福祉センター、発達障害者支援センター等
- ・医療機関等:病院、診療所、訪問看護ステーション
- ・福祉サービス事業所:相談支援事業所、作業所、ヘルパー事業所等
- ・その他:働き暮らし応援センターりらく等

②自殺未遂者支援から把握した未遂者(新規ケース)の状況(H27. 4~R3. 10)
(人)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計	(再掲) 湖南いのちサポート 相談事業ケース
男性	2	9	5	6	9	6	3	40	22
女性	9	9	10	8	9	11	7	63	39
合計	11	18	15	14	18	17	10	103	61

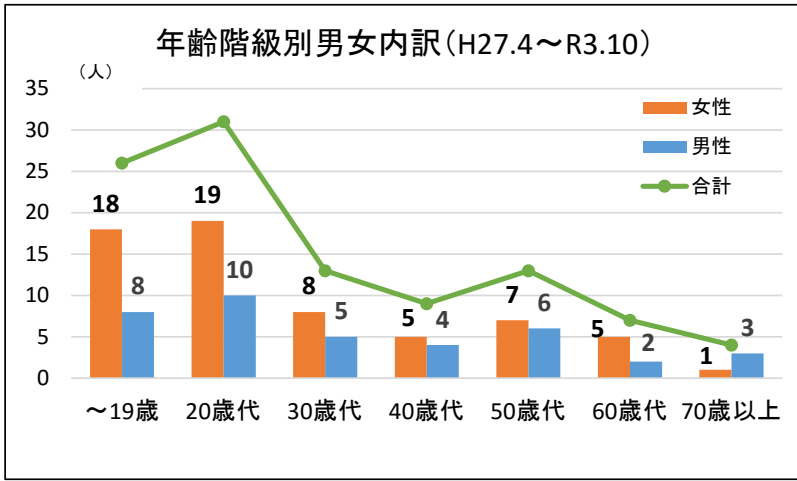
○新規未遂者ケースの把握経路

【令和2年度】

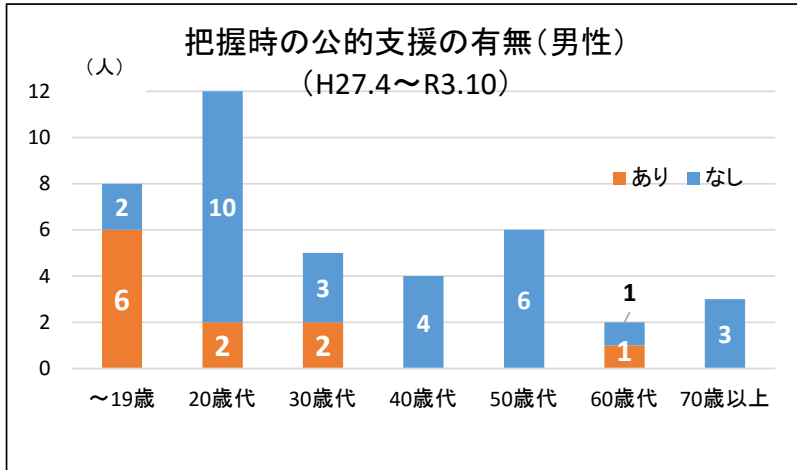
- ・ 湖南いのちサポート相談事業(草津保健所)・・・7件
- ・ 家庭児童相談室・・・6件
- ・ 子育て相談センター・・・1件
- ・ 生活支援課・・・1件
- ・ 中学校・・・1件
- ・ 小学校・・・1件

【令和3年度】

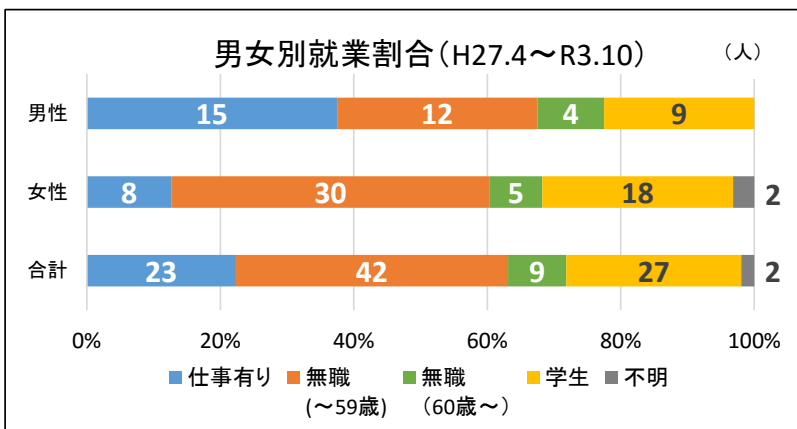
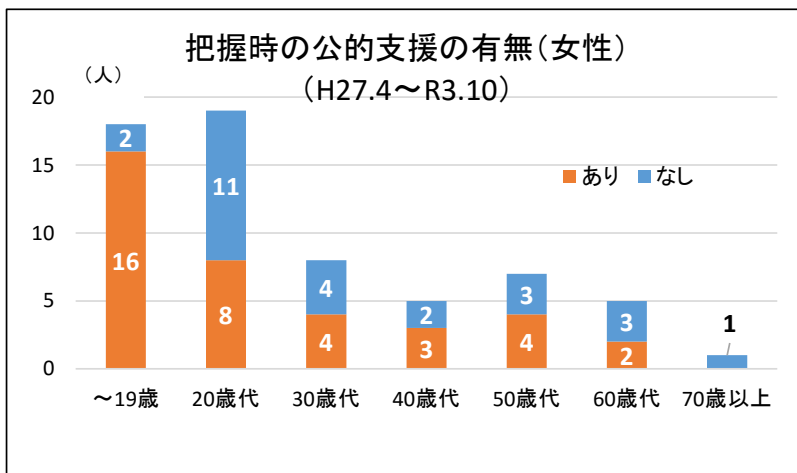
- ・ 湖南いのちサポート相談事業(草津保健所)・・・8件
- ・ 障害福祉課・・・1件
- ・ 生活支援課・・・1件



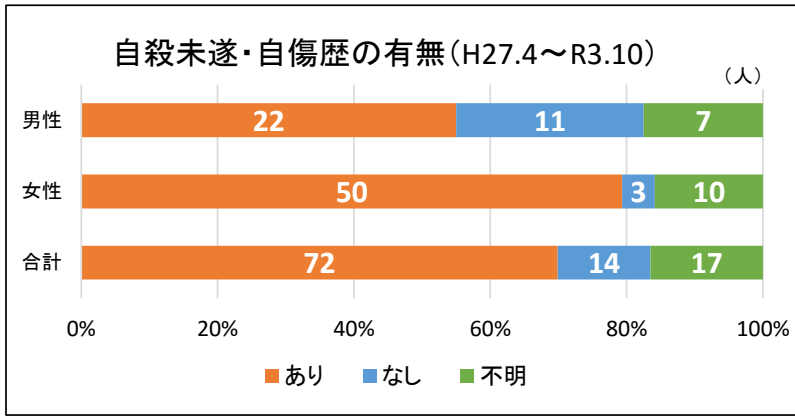
・20歳代が男女とも最大で、10代20代が全体の約5割を占めています。



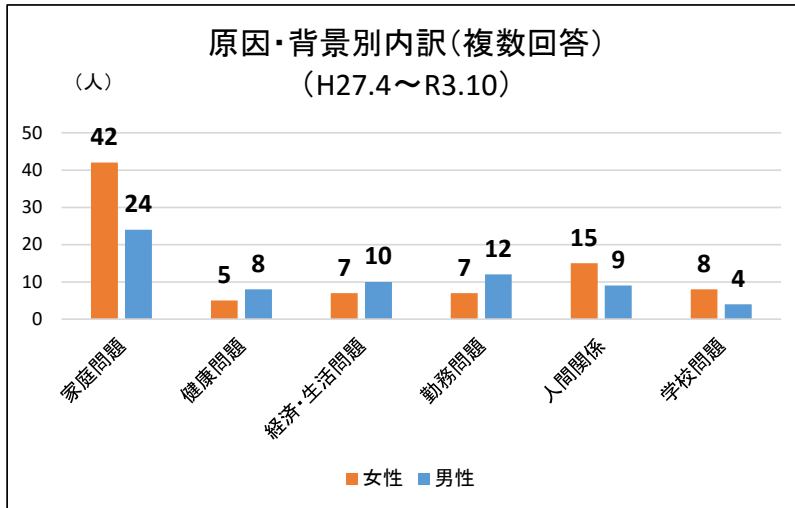
・男性の7割、女性の4割に支援歴がありませんでした。



・全体では59歳以下の無職者が多く、女性でその傾向が強くなっています。



・全体の7割、特に女性では8割近くに自殺未遂や自傷行為がありました。



・男女とも家庭問題が最も多くなっています。

○家庭問題

(こども)・両親の不和

- ・両親の離婚後、父母ともに家庭があり、居場所がない
- ・両親が無関心
- ・親からの虐待

(成人)・幼少期の親からの虐待

- ・両親や兄弟との不和
- ・夫婦の不和
- ・パートナーからのDV
- ・離婚による孤立

(高齢者)・子どもやその家族との不和

- ・役割の喪失

○勤務問題

- ・会社の上司からの叱責
- ・解雇
- ・就職活動の失敗
- ・長時間労働
- ・部署異動

○人間関係

- ・交際トラブル
- ・友人トラブル
- ・発達特性からの対人緊張やこだわり

○健康問題

- ・病気の悩み(うつ病、統合失調症、強迫性障害、適応障害、がん、椎間板ヘルニア、喘息、アトピー性皮膚炎)
- ・身体の悩み(脳梗塞の後遺症、味覚・嗅覚異常)
- ・発達障害
- ・性同一性障害
- ・境界性パーソナリティ障害

○学校問題

- ・友人関係がうまくいかない
- ・勉強、テストのストレス
- ・発達特性によりこだわりが強く集団生活になじめない
- ・SNSで友達から嫌なことを言われた

○経済・生活問題

- ・借金
- ・詐欺被害
- ・仕事が定着せず、収入がほとんどない